

令和6年 ダイズ病害虫発生状況（通年）

1. 主要な病害虫の発生の概要

(1) 紫斑病

ほ場での調査で発生は、見られませんでした。

(2) ベと病

「里のほほえみ」作付けほ場での発病が目立ちました。

(3) 吸実性カメムシ類

ほ場での調査では、発生は平年より少なかったです。しかし、子実調査での被害粒率は平年より高くなりました（「令和6年 ダイズ莢及び子実被害調査結果」参照）。

2. 調査の概要

(1) 巡回調査地点・ほ場数

中通り：3地点・9ほ場

会津：3地点・9ほ場

浜通り：3地点・9ほ場

(2) 調査方法

見取り調査、払落し調査ともに1ほ場当たり25株調査

3. 病害

(1) ベと病

8月の発病株率は、中通りで平年並、会津、浜通りで平年より高くなりました(図1)。感受性品種「里のほほえみ」作付けほ場での発病が目立ちました。

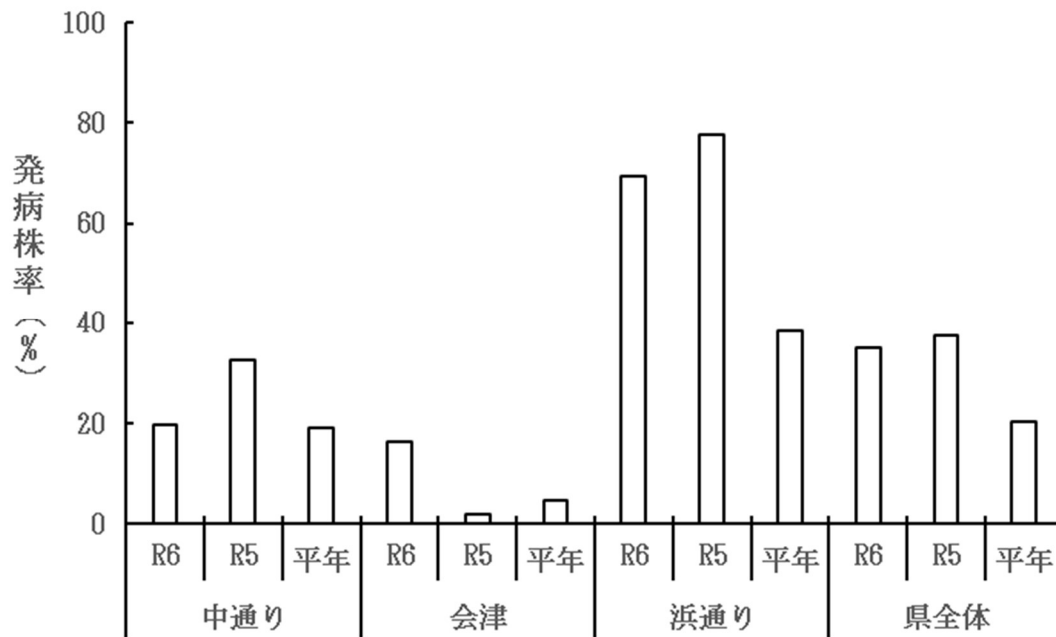


図1 ベと病の発生状況(8月)

(2) 黒根腐病

9月の調査において、会津若松市の一部で発生が確認されました。

(3) 紫斑病、さび病、葉焼病

巡回調査において、発生は確認されませんでした。

4. 虫害

(1) ウコンノメイガ

8月の幼虫による葉巻被害は、中通り、会津で平年並でした。浜通りでは、葉巻被害は見られませんでした(図2)。

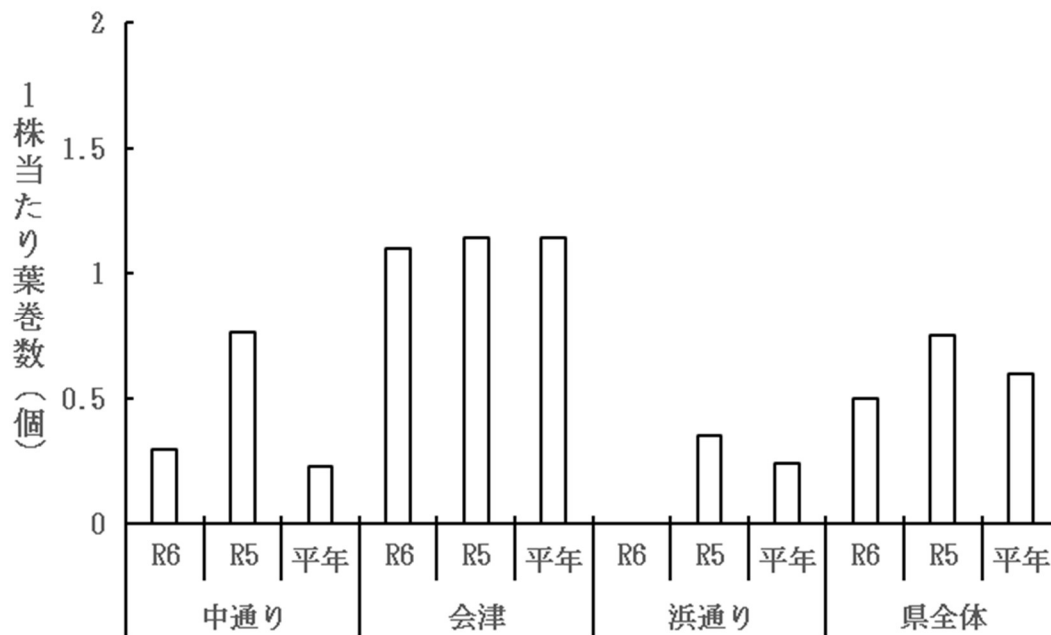


図2 ウコンノメイガ幼虫による葉巻被害の発生状況(8月)

(2) フタスジヒメハムシ

9月の払落し数は、中通り、浜通りで例年並、会津で多くなりました(図3)。

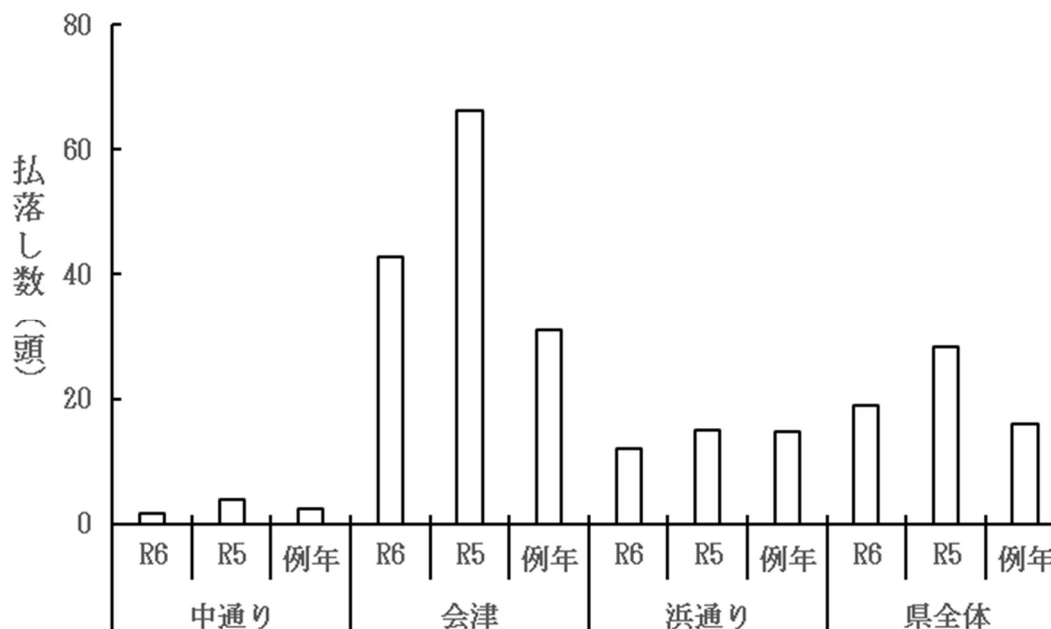


図3 払落し調査によるフタスジヒメハムシの発生状況(9月)

注) 例年: 過去3年平均

(3) アブラムシ類

9月の1小葉当たり寄生頭数は、全域で平年より少なくなりました（図4）。

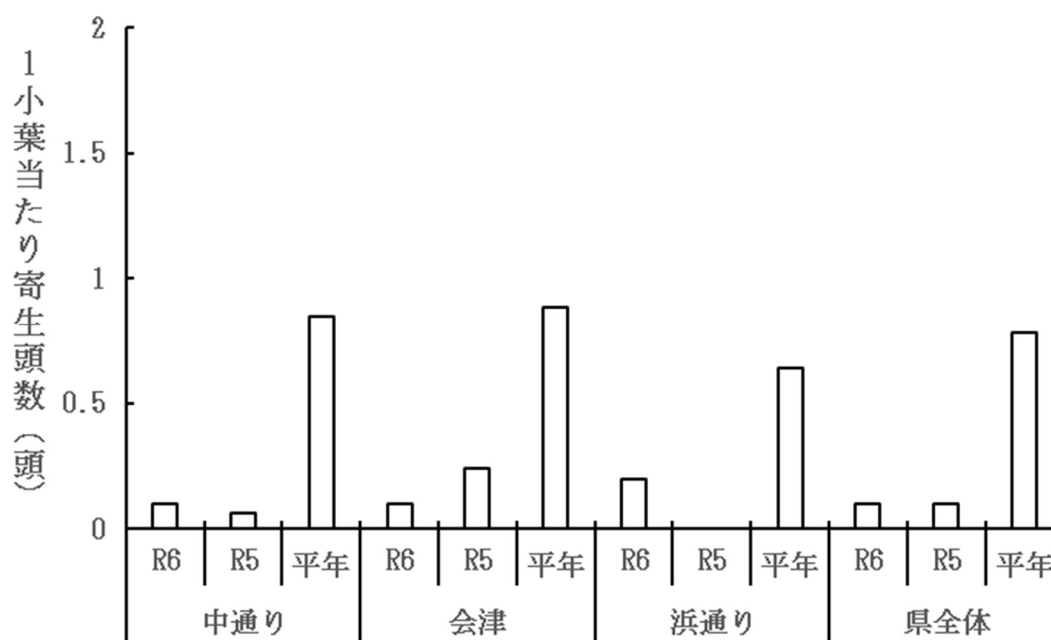


図4 アブラムシ類の発生状況（9月）

(4) 吸実性カメムシ類

9月の見取り調査では、全域で平年並より少ない発生でした（図5図8図6）。

9月の払落し調査では、中通り、会津で平年並、浜通りで平年より少ない発生でした（図7、図8）。

主な寄生種は、ホソヘリカメムシ、イチモンジカメムシ、アオクサカメムシでした。

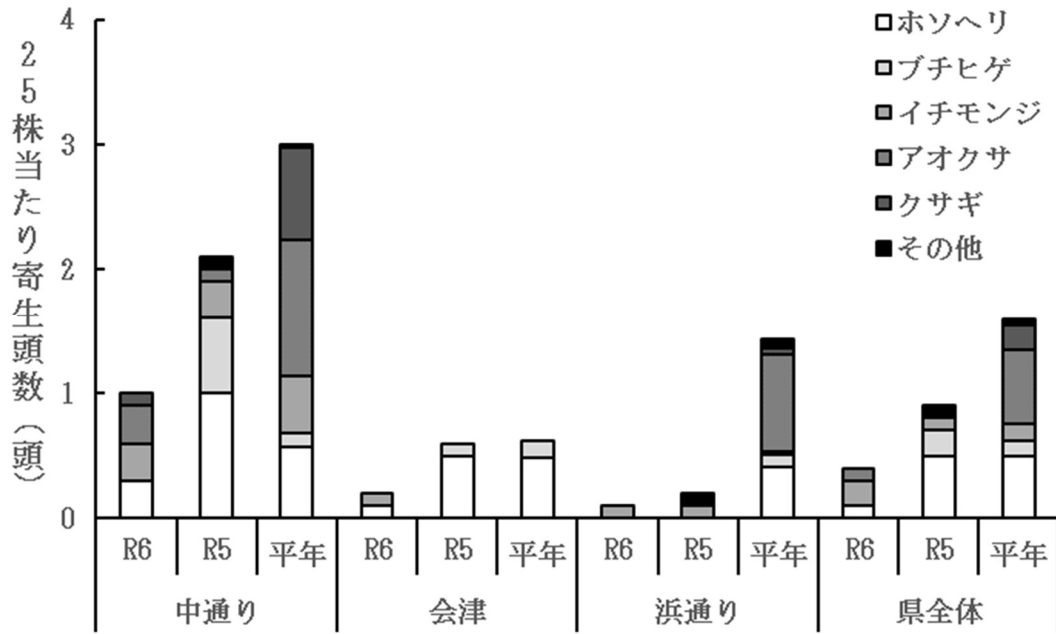


図 5 見取り調査による吸実性カメムシ類の発生状況（9月）

注) ホソヘリ：ホソヘリカメムシ
 ブチヒゲ：ブチヒゲカメムシ
 イチモンジ：イチモンジカメムシ
 アオクサ：アオクサカメムシ
 クサギ：クサギカメムシ の略 以下同じ

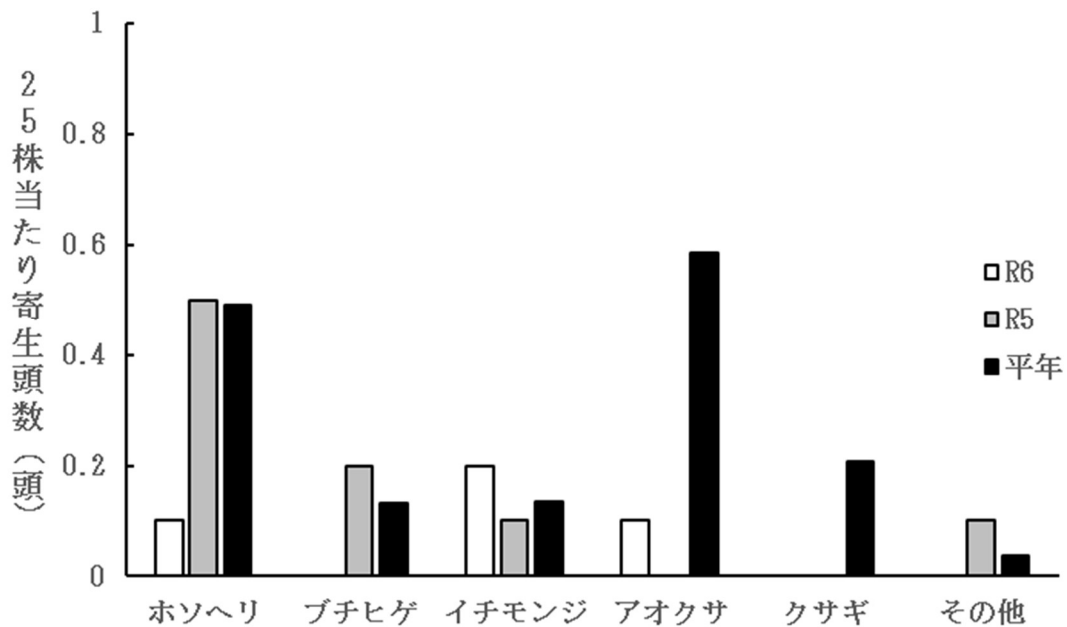


図 6 見取り調査による吸実性カメムシ類の種別発生状況（9月）

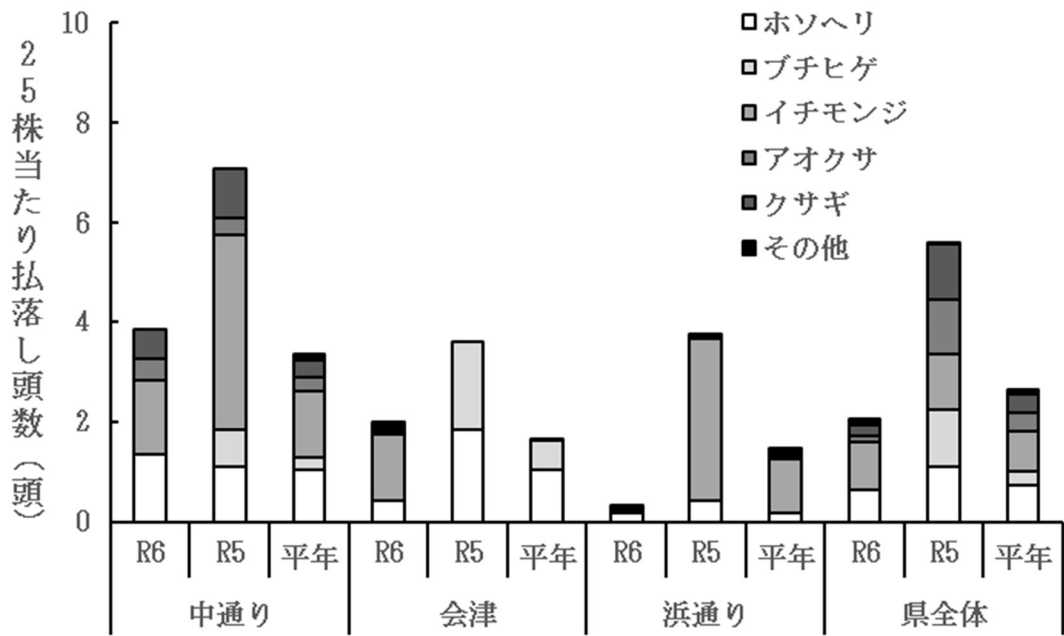


図 7 払落し調査による吸実性カメムシ類の発生状況（9月）

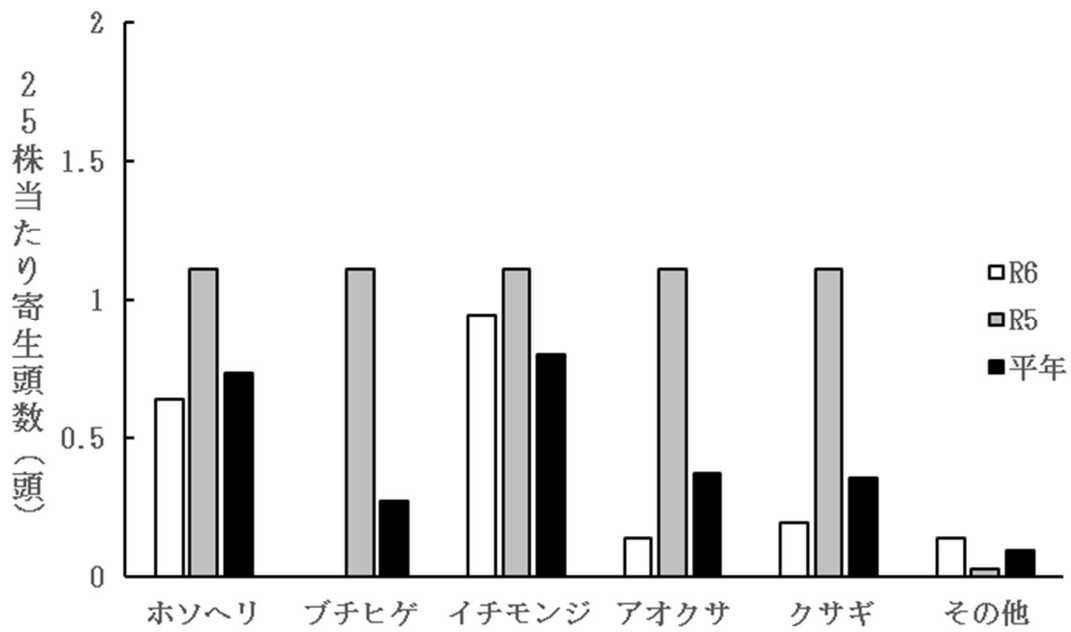


図 8 払落し調査による吸実性カメムシ類の種別発生状況（9月）